

平成 2 8 年度 強度行動障害のある方の支援者に対する研修 実践報告会概要

1. 日時：平成 2 9 年 3 月 4 日（土）
午前 1 0 時から午後 4 時 3 0 分まで
2. 会場：千葉県教育会館大ホール、新館 5 0 1 会議室
（千葉県千葉市中央区中央 4－1 3－1 0）
3. 講師： ①講義：田熊立氏
（千葉県発達障害者支援センター 副センター長）

②講義：志賀利一氏
（国立重度知的障害者総合施設のぞみの園）
4. 参加者数：2 5 9 名
5. 実践報告内容：別添のとおり

※平成 2 8 年度強度行動障害のある方の支援者に対する研修

県内の障害者（児）入所施設の支援員 1 6 名が参加。

平成 2 8 年 5 月 1 0 日（火）から開始し、年間 3 4 日間の研修を実施。

平成 28 年度 強度行動障害のある方の支援者に対する研修事業 実践報告会プログラム

大ホール 講師 志賀 利一 氏（国立重度知的障害者総合施設のぞみの園）	
9:30	受付
10:00	挨拶（千葉県障害福祉課）
10:05	講義①：事業内容の紹介及び研修の結果からみる入所施設における行動問題への支援
11:05	（千葉県発達障害者支援センター 田熊 立）
11:05	講義②：強度行動障害のある方への支援の方向性と千葉県に期待すること
11:45	（国立重度知的障害者総合施設のぞみの園 志賀 利一 氏）
11:45	次年度の研修についての案内
11:50	（千葉県障害福祉課）
昼食休憩（午後 501 会議室での実践報告にご参加の方はご移動ください）	
12:50	萬徳 秀幸 氏（社福）まつど育成会 まつぽっくり
13:10	特定の人の姿を見ると叩いてしまう方に対して、朝の起床から日中の作業の場面まで、支援を見直した。叩きが減少した経過について報告する。
13:10	加藤 崇 氏（社福）清郷会 十倉厚生園
13:30	職員の声かけや促しが他害のきっかけとなっている方に対して、他害の刺激とならないように排せつや作業へと誘導できるように支援を見直した経過を報告する。
13:30	吉田 友希 氏（社福）槇の里 いすみ学園
13:50	パニックがあるために作業に参加しにくくなっていた方への支援を見直すために、作業の工程を分析した。対象の方を作業に当てはめるのではなく、作業を対象の方へと合わせるように見直した結果、作業参加が増えた経過について報告する。
13:50	山口 剛 氏（社福）香取学園 瑞穂寮
14:10	自傷が起きやすい時間に、ひとりでできる活動を取り入れることで、自傷が減少した経過について報告する。
14:10	前半 4 施設についての講評（25 分間）
14:35	休憩（15 分間）
14:50	遠藤 雅史 氏（社福）いちょうの里 みずほ学園
15:10	パニックが頻繁に起きるために、日中の作業への参加ができなくなっていた方に対して、できることを活かして作業場面を組み立てた結果、個別の作業へと出られるようになった経過について報告する。
15:10	宇野 航 氏（社福）槇の実会 第 2 ひかり学園
15:30	苦手な場面の回避や支援者との関わりを求めて起きていた他害が、ほとんどなくなるまでの支援経過について報告する。
15:30	伊東 孝浩 氏（社福）土穂会 ピア宮敷
15:50	数年にわたり、作業を拒否して居室から出られなかった方が、作業場面の設定の工夫や作業への動機づけを意識した支援を行うことで、安定して作業へと参加できるようになった経過について報告する。
15:50	後半 4 施設についての講評（25 分間）
16:15	挨拶 ※アンケートのご記入にご協力ください
16:30	終了

	<p style="text-align: center;">501 会議室 講師 田熊 立（千葉県発達障害者支援センター）</p>
9:30	受付
10:00	大ホールでのプログラムにご参加ください
11:50	
	昼食休憩（501 会議室へご移動をお願いします）
12:50	磯田 行治 氏（社福）八光聡 八日市場学園 多動がてんかん発作を誘発してしまう方に対して、少しでも生活の中の多動を抑えるために、日中活動の時間に見通しのある課題を導入した支援の経過について報告する。
13:15	小林 雅史 氏（社福）桐友学園 桐友学園 帰宅を気にして情緒が不安定になる児童に対して、見通しをもって生活できるようにスケジュールを導入した経過について報告する。
13:40	松本 太樹 氏（社福）千葉県社会福祉事業団千葉県袖ヶ浦福祉センター 養育園 自傷や他害など、いくつかの行動上の課題のある児童に対して、支援統一を行った結果、行動上の課題が軽減した経過について報告する。
14:05	床井 祐介 氏（社福）クローバー会 第2クローバー学園 多飲水や破壊などいくつかの行動上の課題のある方に対して、起きやすい時間帯にひとりでできる好みの課題を提供するなど支援の見直しを行った経過について報告する。
14:30	
	休憩
14:45	馬場 正徳 氏（社福）クローバー会 クローバー学園 特定の人の行動にこだわって、その人が思った通りに動かないと他害へと発展してしまう方に対して、スケジュールを導入し、職員の関わり方を統一した。こだわりが減少しながら、移り変わっていった経過について報告する。
15:10	椎熊 一 氏（社福）薄光会 豊岡光生園 水を飲みたいという要求が強く、職員がその行動の対応にあたるが、結果、ご本人が興奮状態に陥ってしまったり、エスカレートしてしまう。対応の統一を図って支援をした経過について報告する。
15:35	
15:35	北條 克明 氏（社福）かずさ萬燈会 木更津中郷丸 生活や作業の場面で、興奮が高まって他害へと発展してしまう方に対して、できることや好みの活動を取り入れて支援した経過について報告する。
16:00	
16:00	久保木 康臣 氏（社福）大泉旭出学園 大利根旭出福祉園 自由時間に他害をしてしまう方に、ひとりでできる好みの活動を提供することで、安定して過ごせる日が多くなっていった支援の経過について報告する。
16:25	
16:25	挨拶
16:30	※アンケートのご記入にご協力ください